

【令和4年度 須坂市立相森中学校グランドデザイン】

◇校訓「壮心不已」 ◇教育目標「優しさと輝きのある中学生」
合言葉「壮・優・輝」

【めざす生徒の姿】

○自分のよさや可能性に気づき、目標に向かって心身を鍛える生徒
(壮)

○まわりの人やものを大切にし、温かな関わりを持つようとする生徒
(優)

○友や地域の人たちとともに課題を解決しようとする生徒
(輝)

本年度の重点目標

自分の「思い」を伝える。相手の「思い」を聴く。

【学力の向上】

一授業の充実・学力の保障・小中の連携一

- 1 問いをもち、自分の考えを見出す授業
 - ・授業の中に、思考・判断・表現をする場面を仕組む
 - ・対話を通した「学ぶ楽しさ」の時間を確保
 - ・授業評価アンケートの実施(学期ごと)→結果をいかしたPDCAサイクルの構築
 - ・一人一台端末の積極的、有効な活用促進
- 2 自主学習の場の設定
 - ・端末を利用した家庭学習の個別最適化
 - ・水曜日放課後や夏期休業中の壮心塾の実施
 - ・定期テスト前に学習相談の時間を設定
- 3 「ふるさと須坂」を意識したESDの推進
- 4 小中連携による学力の定着と家庭学習の充実
 - ・校区内の小学校と連携した学力の課題と対策→共通の取り組みを推進する

【望ましい人間関係づくり】

一道德、人権教育、特別支援教育、命の教育の充実一

- 1 道德教育、人権教育の日常的な実践
 - ・道德教育や人権同和教育を中心とした人権感覚、優しさ、思いやりの育成
 - ・進んで関わろうとするボランティア活動の推進
- 2 特別支援教育の充実
 - ・特別支援学級生徒や通常学級で支援を要する生徒に配慮した指導の充実
 - ・全学級でのユニバーサルデザインを意識した教室環境や授業づくり
- 3 「いのちの教育」の推進
 - ・すべての教科や活動において命の大切さを意識した学習展開を実践し、いのちを尊重し合える心を育成
 - ・「いのち」をいただく、食育教育の充実
- 4 生徒一人ひとりの居場所づくり
 - ・Q-Uや学校環境適応感尺度(アセス)を活用した、いじめや不登校の未然予防的指導の充実

【自主的・主体的な姿】

一生徒会活動と伝統的な行事の充実一

- 1 生徒会活動
 - ・スローガン『つながろう 相森!』～Make Fruitful Days～のもと、①つながり②情報の発信③伝統を受け継ぐの3点を重点として実りと彩りのある学校生活を送れるようにしていく
- 2 学級活動
 - ・よりよい学校生活に向けて、一人ひとりに活躍の場がある学級活動の展開
- 3 運動会・音楽会
 - ・相森中伝統行事「運動会」、「音楽会」の目的を明確にし、取り組みの過程を大事にして成就感の得られる行事にする
- 4 情報機器の正しい利用
 - ・適切で正しい使用方法について、家庭とも連携してルールを確認していく